

# さわがせ

号数 第 3 5 1 号  
発行日 令和 7 年 9 月 1 日  
発行所 金光教 韮 教会  
〒 550-0011  
大阪市西区阿波座 2-2-10  
TEL&FAX 06(6541) 6313  
mail: utubo1905@gmail.com



第78回少年少女全国大会に参加。当日は雨の中を行進しました(8月10日)

## その場がお役に立つところ

教会長 鍵山公生

### 一週間の避暑生活

皆様健やかにお過ごしでございませうか。最近の夏はとても暑く、いかに過ごせばいいかと苦慮いたします。私の幼い頃は自然の風を頼りにあれこれ工夫して凌いでいましたが、しかし体温を超えるほどの気温になると空調のお世話にならざるを得ません。すると電気代も上がり生活費を圧迫します。そのような中で、私は一週間避暑生活をさせていただくことになりました。

宿泊は7階建てビルで空調設備は勿論整っていて、食事は上げ膳、据え膳で、場所は見晴らしがよく、近くには京セラドームがそびえるといった都会の真ん中でした。ここまで申しますとどんなところかと思われるでしょうが、それは病院へ入院することでした。

妻が私の体の健康を心配をして、少し耳が聞こえにくくなってきたといえ、



耳鼻科医院を。また目が見えにくくなって来たといえは眼科医院を探してきて、それ行け、やれ行けと検診を勧めるのです。それは75歳を越えると医療費が安価で検診できるということもあり、8月からは少し高くなるのでそれまでに診察を受ければいいと言うのです。私も折角言ってくれるのでそれに従ってまず耳鼻科で検査を受けました。

その結果、左の耳は全く聞こえなくなっていて、聞こえるように戻らないというのです。しかし右耳は若い人並みによく聞こえていると言われ、少々安堵しました。

次に耳鼻科の開業医で診察を受けると、左の眼が白内障になっていて手術を勧められました。白内障には年を重ねると80パーセントの人はなると以前聞いていたので、いよいよその時期が来たかと腹をくくって手術を受けることにしました。

白内障というのは、眼球の中のレンズが濁って見えにくくなる症状で、人工のレンズと取り替えれば良いとのこと。しかしそれだけならば一泊の入院程度で手術が済むところ、私の場合は眼の奥の景色が写る薄い膜こうはんじょうまく（黄斑上膜）も除去することが必要で、回復するまで1週間の入院が必要ということでした。また手術後レンズを定着させるのに、ある種のガスを注入して圧力をかけることもあり、その後は顔を伏せたまま2～3日耐えなければならぬというのでした。それを聞いた妻は、入院する前に個室を頼んだらと言うのです。私はそれは部屋代がかさむので我慢するからと言っていました。しかしどうしても個室にしてもらった方がよいと言って勧めるのです。私は神様をお願いして、おかげをいただくと言って入院しました。結局個室の空きはなく、案内された部屋は窓際で、思ったより広く、その上明るく、結局大部屋に落ち着き、個室料が要らず大きなおかげをいただいたのでした。



手術を受ける前にはご本部で金光様にそして親教会にもお届けをさせていただいていたので心配ないとはいうものの、やはり不安は残ります。入院してからあれこれ検査があり、翌日早々に手術が開始されました。

### 手術台に乗せられて

いよいよ手術台の上で、医師や看護師のなすがまま身を固くしていました。まず手首の甲に点滴の針が刺され、それがまたとても痛く耐えていました。次に左眼球の横に長い麻酔の針を刺されました。心中では「金光様、いま治療が始まりました。どうぞ医師や看護師らが失敗なく、快く手術をしていただけますように。そして無事手術に耐えることができますように。金光様、金光様。」とひたすら唱えつつ祈っておりました。このときこそ信じる神様がおられてありがたいと

思ったものです。

手術は部分麻酔のため、医師の声や動作が体に伝わってきても自分で見ることはできず、想像しながら約50分の治療は終了し、神様に安堵のお礼を申しました。

病室に戻り、日に何回となく目薬をさすだけで、眼帯をはめられた眼が元通りに見えますようにと願うしかありません。毎日の検診では「順調に回復しています」と医師から言われても、眼帯の隙間から見える光はただぼんやりとしたままで、これで大丈夫かという不安は拭えませんでした。



### 腰の痛みからの気づき

今度は上を向いて休んでいると腰が痛み、左を向いても右を向いても治らず、温湿布をしてもらってやっと痛みが治まったのでした。そのとき「そうだ」と気づいたのです。このような時のために持参していた「天地書附」を台の上に置き、信奉者名簿を開き、住所と氏名を一人ひとり読みあげ、それぞれのお届け事が成就されますように願い、拝詞を唱えさせていただいたのでした。その内に腰の痛みは無くなり、時間が経つのを忘れ、「神様おかげをいただきました」と御礼申し上げました。

部屋は大部屋のため毎日入退院される方が変わり、その方たちの回復もお願いさせていただこうと思いました。私が今回入院するにあたり、「自分の目の治療のことだけではなく、他の治療を受けておられる方々も早く回復され、退院されますように。」とお願いするご用もさせていただこうと考えていたことを思い出し、神様にお詫びと、気づかせて頂いたことに感謝申し上げたのです。

「神様のなさることは何事も無駄ごとはなし」と仰せ下さっているその意味をよく理解させていただいたのでした。

### 一番落ち着くところ

日にちを追うごとに暇になり、早く退院したいと思って看護師に相談すると、「何かお急ぎですか」と訪ねられ、私は「仕事があります」と答えると、「えっ!」と言ってびっくりするのです。こんな年寄りの人がまだ仕事をするのか、と思ったのでしょうか。そこで「仕事って何ですか」問われます。「私は宗教家です」と言いますと、「お坊さんですか」と言われ、私は「金光教の教師です」といいましたが、その言葉にピンと来なかった様子で、後の話は続きませんでした。

看護師は医師に相談され、おかげで予定より1日早く退院することが出来ました。そして退院後は激しい運動もテレビを見てもいけないと指示されていたので、眼帯のまま自由にできるのは、教会のご神前での御祈念させていただくことだけでしたが、やはりそこが一番落ち着くところでした。

退院一週間後の検診では「順調に回復していますね」との言葉でしたが、「術

前の状態よりも目のピントが合わずぼけています」と言いますと、三ヶ月ほど経って、眼球が落ちつき、めがねの度を合わさなければ元通りには見えません」と言われ、がっかりしました。しかし私が生まれてこのかた80年余り使わせていただいていた眼ですから誰にも不足など言えるものではありません。そして手術していない右目があるからこの原稿のパソコンも打つことが出来て、今回の治療を通して気付かせていただき、ありがたいことと喜んでいきます。

またこの入院に当たり、妻は入院の準備や着替えの洗濯、そして病院では私の好物の果物が欲しいだろうと持参し、心を尽くしてくれ、そして息子や孫が病院までの送迎を快くしてくれることなど、家族の協力に感謝しております。

## 第78回 金光教少年少女全国大会参加

8月9・10日と御本部広前にて開催された少年少女全国大会に、韃教会より12名が自家用車と新幹線に分乗して参加しました。

9日は自家用車での5名が出発しました。途中高速道路での事故や、お盆の帰省渋滞とも重なり金光へは夕方に到着。お広前でのご祈念、金光様へのお届け後、絵師迫の奥城を参拝させていただきました。その後、すでに開始されていた霊地夜祭りに参加し、境内に模擬店が出店され、焼きそば、いなり寿司、焼き鳥、冷やしうどん、ポテトフライ、かき氷、ジュースなどの食品が並び、また魚釣り、射的、輪投げなどのゲームコーナーもあって、それぞれ楽しみました。同時にゆうやけパレード、ステージパフォーマンス、「激突！日本の祭り」などが行われ、賑やかな行事が行われました。私たちは金光町内の「光風館」にて宿泊いたしました。

翌日10日には、7名が新幹線でご本部に到着し、みんなと合流し合計12名となりました。その後、かがやけ大行進に参加しました。中近畿教区では今年のテーマ「大阪・関西万博」と題して、作成した「ミャクミャク」を持ったり、それをモチーフにした飾りや、うちわを持って行進しました。今年は、残念ながら雨の中の行進となりましたが、みんな元気に曲に合わせて行進を行いました。

午後1時から祭場において昨年7月21日にご帰幽になられた5代金光様の追悼式があり、その後式典が行われた後それぞれ帰路につかせていただきました。

帰路、新幹線が博多駅から広島駅間が大雨のため運休となたにもかかわらず、予定通り大阪まで無事帰ることが出来、それぞれに大変おかげを頂いた少年少女全国大会となりました。



↑夜祭りのゲームコーナー  
輪投げを楽しみました



みんなに大人気！  
大阪関西万博のマスコット  
「ミヤクミヤク」→



←かがやけ大行進では、金光  
町内を元気に行進しました

かがやけ大行進に参加した、  
中近畿教区の方々と一緒に  
記念撮影↓



月例霊祭日に、祥月命日の御霊様も  
お呼び出ししてご慰霊させていただきます。  
(9月14日・10月12日ともに  
午前10時30分より)

令和7年9月

14日(日) 月例祭並びに月例霊祭執行

午前10時30分

祭典後教話、豊中教会長 瀧山美明師

講題：「御霊様に語る」

19日(金) 信徒共励会 午前10時



**23日(祝) 秋季霊祭執行 午前10時30分**

28日(日) 秋の合同墓前祭 (瓜破霊園にて) 午前10時30分

10月

1日(水) 月例祭執行 午前10時30分

5日(日) 御本部 生神金光大神大祭参拝

12日(日) 月例祭執行 午前10時30分

13日(月・祝) うりわり墓参 午前7時

17日(金) 信徒共励会 午前10時

19日(日) 御大祭準備大掃除 午前10時

生神金光大神

大祭奉行

10月26日(日)

午前10時30分より